

平成29年度 事業報告

1. 概要

今年度の我が国経済は、米国の新政権発足、難民問題と欧州主要国のリーダー選出による政局変化、混迷する中東問題、北朝鮮情勢の緊迫化など世界の政治経済が大きく揺れ動く中で、堅調な海外経済を背景に景気回復局面が拡大しました。政府も今後の経済成長を持続可能なものとするべく、“生産性革命”と“人づくり革命”の二本柱を新しい政策パッケージとして掲げ、官民一体で取り組んでいるところであります。

かかる環境下、当会の事業活動は、様々な事業への積極的な取り組みにより活発な展開が出来ました。

事業展開については、運営の質の向上を念頭におきつつ現事業の参加者拡大の努力と新たな事業企画への取り組みを行い、お蔭をもちましてデータと分析力の価値化を考える会、グローバル財務塾、シェアードサービス実務担当者連絡会議、働き方改革実践研究会、次世代を担うIT変革リーダー塾、ESG対応フォーラムなどの会の開設に加え、引き続き、新規事業として受託研修事業を展開いたしました。さらに各企業の個別の実務対策とスキル向上の要請に応えるべく公開セミナー事業を活発に開催いたしました。

また産業界をはじめ公益に資する活動として、BRI なでしこサミット2017、BRI なでしこプロジェクト研修会、BRI・HR シンポジウム2018、シェアードサービス研究交流会議研究成果発表会、海外(米国/ニューヨーク・RPA)視察研修会など通常事業と並行して実施いたしました。

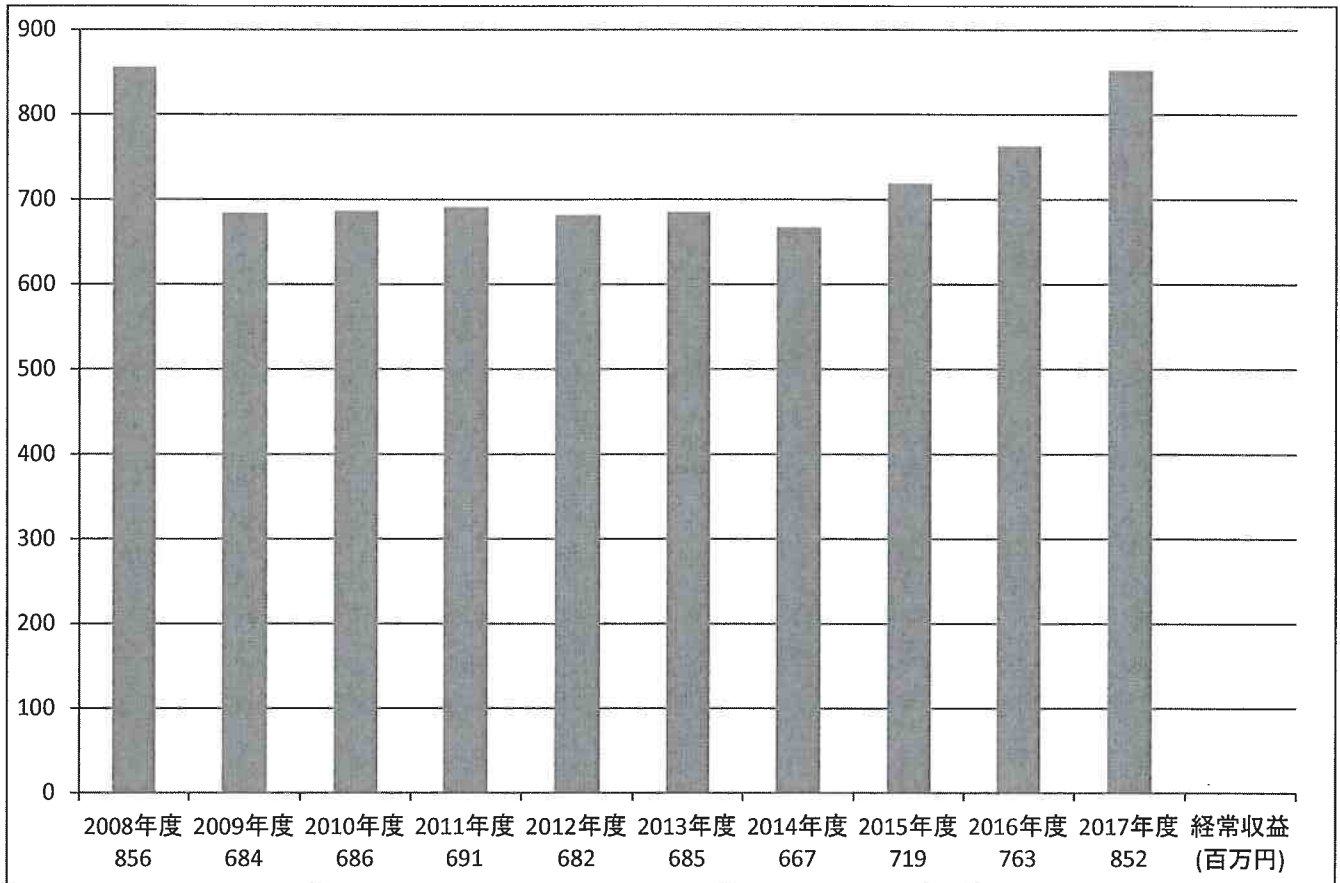
事業推進にあたっては、コーポレートガバナンス、経営のグローバル化と事業展開、M&A・アライアンス戦略の展開、競争力強化のための技術経営・知財戦略、新商品・新事業開発、IoT、AI、ビッグデータ活用などデジタル革命への対応と生産性向上、次世代経営者・リーダー人材の育成、CSRとESG経営、民法、労働法など法改正への対応などを重点研究目標として意識し、諸活動を展開いたしました。

以上の活動の成果は、当会のWebサイトや機関誌「ビジネスリサーチ」を通じて産業界に普及を図りました。

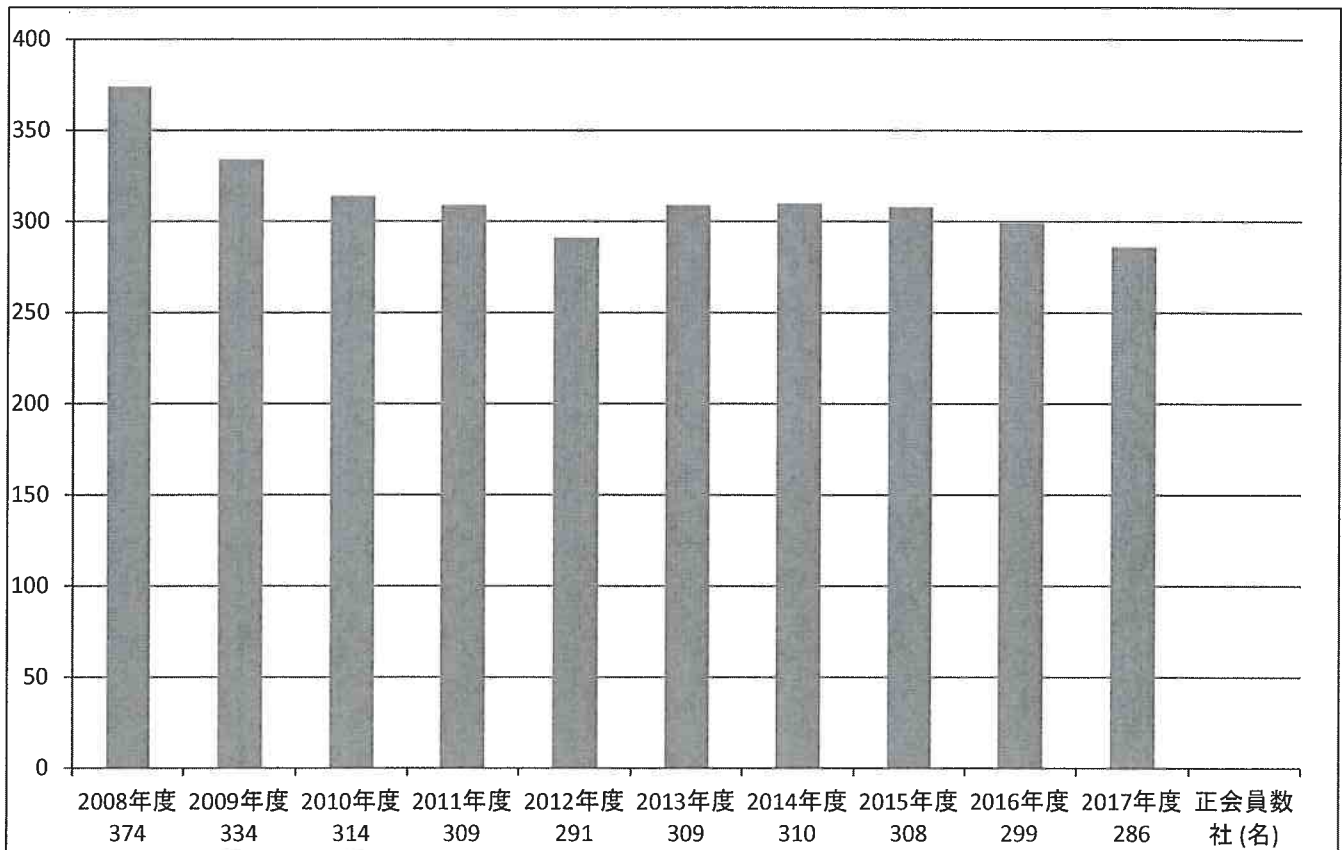
今後共、これまでの活動実績を土台として、企業研究会の新たな発展ステージに向けて、産業界と各企業のニーズに的確にお応えすべく、引き続き様々な事業活動の積極的展開に注力して参りますので、会員はじめ関係者の皆様の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

10年間の経常収益・会員の推移

1. 経常収益



2. 正会員数



平成29年度 主要会議、研究会等 月別開催回数一覧

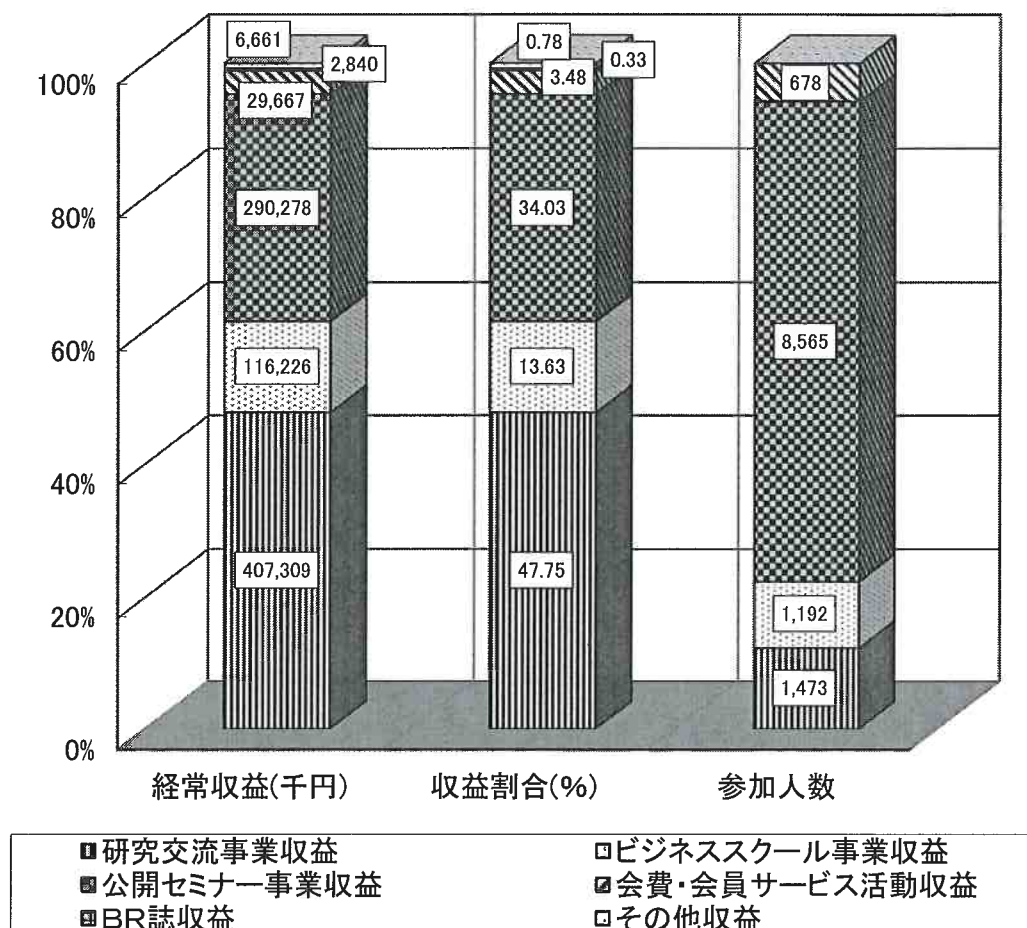
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(回)

	平成29年									平成30年				前年度計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	当年度計		
定時社員総会 (第7回)			1										1	1	
理事会 (第22回～第25回)		1	1					1				1	4	3	
経営会議 (第61回～第64回)		1					1			1		1	4	4	
評議委員会議 (第12回～第13回)				1							1		2	2	
会員サービス活動	通常総会記念講演会		1										1	1	
	会員研究会		3	2	4	2	2	1	1	2	4	2		23	18
研究交流事業		31	34	36	38	34	34	35	36	35	29	33	38	413	397
ビジネススクール事業		20	21	21	17	18	24	26	27	27	20	21	19	261	179
公開セミナー事業 (うちオンラインライブセミナー事業等)		57 (10)	58 (5)	74 (11)	81 (12)	64 (3)	89 (4)	79 (10)	79 (3)	71 (8)	62 (10)	74 (6)	80 (1)	868 (83)	693 (63)

2. 事業別報告

平成29年度の事業報告（概要）
 研究会等参加人数・経常収益・割合
 （平成29年4月1日～平成30年3月31日）



平成29年度経常収益（852,983千円）

事業区分	収益(千円)		収益割合		参加人数(人)	
	当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
研究交流事業収益	407,309	391,281	47.75%	51.23%	1,473	1,441
ビジネススクール事業収益	116,226	106,664	13.63%	13.96%	1,192	679
公開セミナー事業収益	290,278	229,874	34.03%	30.09%	8,565	6,652
会費・会員サービス活動収益	29,667	29,913	3.48%	3.92%	678	309
BR誌収益	2,840	3,171	0.33%	0.42%		
その他収益	6,661	2,940	0.78%	0.38%		
計	852,983	763,845	100%	100%	11,908	9,081

※収益金額については千円未満切捨て

I. 会員サービス活動

(1) 会員研究会他の開催

※()内前年度

実施回数24回(19回) 参加人数名678(309名) 開催時間 60時間(51時間)

<会員研究会他の開催テーマ>

- ・ <視察研究会>脱・産廃屋から地域に愛される企業への再生 石坂産業(株)
- ・ いざという時に役立つ「仕事と介護の両立」セミナー (全3回開催)
- ・ 商品開発とビジネス戦略におけるイノベーションの方向性 (全2回開催)
- ・ 歴史から見える知的財産戦略
- ・ 一瞬で相手の心を掴む「ビジネス発声法」
- ・ アジア富裕層マーケティング概論
- ・ 2017年総会記念講演会
人工知能がビジネスの現場を変える ～人工知能の現状と未来～
- ・ <視察研究会>スリーエムジャパン(株) カスタマーテクニカルセンタ (全2回開催)
- ・ クレーム対応から学んだ、職場をイキイキさせるコミュニケーション (全2回開催)
- ・ 経験ゼロでもすぐ身につく、ストレスゼロの「クレーム対応」 (全2回開催)
- ・ 世界の変化と『働き方』『リーダーシップ』
- ・ 1日10分で仕事の効率化を劇的に向上させる！
- ・ 中国事業に関わるPE、出資権譲と課税概論
- ・ 世界を観て日本を考える読書交流会【シリーズX I】
- ・ 富裕層インバウンド戦略 概論
- ・ 働き方変革の失敗例に学ぶ「成功の鍵」
- ・ 働き方改革としての「オフィスの5S:成功の鍵」
- ・ 脳科学の世界から考えるビジネスのあり方

(2) 正会員 募集

正会員(平成29年4月1日)

299社(名)

平成29年度の正会員の動き

(イ) 入会法人	11 社	
(ロ) 入会個人	1 名	入会計12社(名)
(ハ) 退会法人	18 社	
(ニ) 退会個人	7 名	退会計25社(名) 純減13社(名)

正会員(平成30年3月31日)

286社(名)

「入会(法人) 11社」

1	(株)エフ・シー・シー	7	東芝三菱産業システム(株)
2	新日鉄住金化学(株)	8	有限責任監査法人トーマツ
3	(株)伊藤園	9	倉敷紡績(株)
4	豊田合成(株)	10	(株)ロッテ
5	森永乳業(株)	11	(株)テレコムスクエア
6	(株)長谷工不動産ホールディングス		

「入会(個人) 1名」

1	石川 智史
---	-------

「退会(法人) 18社」

1	MeijiSeikaファルマ(株)	10	ペイン・アンド・カンパニー・ジャパン・インコーポレイテッド
2	(株)ミロク情報サービス	11	日本経営システム(株)
3	ケプナー・トリゴア・ジャパン, LLC.	12	リョービ(株)
4	エプソンアヴァシス(株)	13	(株)丹青社
5	(株)ゴーガ	14	協立化学産業(株)
6	(公財)日本交通公社	15	(株)エフ・シー・シー
7	(株)長谷工コーポレーション	16	東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)
8	エバラ食品工業(株)	17	持田ヘルスケア(株)
9	日本曹達(株)	18	TDK(株)

「退会(個人) 7名」

1	山根 なおみ	5	成瀬 敦
2	清水 瑞代	6	平野 真由美
3	土屋 博之	7	久後 泰三
4	井原 博之		

II. 研究交流事業(研究調査事業を含む): 常設研究交流部会(39種)を運営

- (1) 実施回数/413回(397回) 参加人数/1,473名(1,441名) 開催時間/1,870時間(1,875時間)
- (2) 1部会当たり会員数(平均)/38名(38名) 最多人数/93名(87名) 最小人数/12名(17名)
- (3) 研究交流事業収益 407,309千円 (前年度対比104.1% 前年度:391,281千円)
- (4) 新設

- ・ データと分析力の価値化を考える会

既存

- ・ 21世紀経営者フォーラム
- ・ 特徴企業経営者フォーラム
- ・ 新しい技術経営を考える会
- ・ 経営戦略担当幹部交流会議
- ・ 新規事業開発担当幹部交流会議
- ・ グローバル財務戦略研究会
- ・ 調達革新フォーラム
- ・ グローバル人事戦略研究フォーラム
- ・ 戦略スタッフ研究フォーラム
- ・ ブランドマネジメントフォーラム
- ・ 企業グループマネジメント研究部会
- ・ 企業広報実践研究会
- ・ 品質革新マネジメントフォーラム
- ・ 知的財産戦略交流会議
- ・ 特許戦略スタッフ会議
- ・ R&Dマネジメント交流会議
- ・ コンピュータによる材料開発・物質設計を考える会
- ・ 21世紀の経営人事を考える会
- ・ 人事スタッフ研究フォーラム
- ・ 研究・技術人材開発フォーラム

- ・ 経理戦略会議
- ・ 企業法務研究部会
- ・ これからの経営情報システムを考える会
- ・ シェアードサービス研究交流会議
- ・ CSR推進フォーラム
- ・ これからの経営監査を考える会
- ・ Webマネジメントフォーラム
- ・ ダイバーシティ&ワーク・ライフ・バランス推進フォーラム
- ・ 新規事業開発リーダー養成フォーラム
- ・ IR実践フォーラム
- ・ ソフトウェア開発マネジメント交流会議
- ・ シェアードサービス経営者会議
- ・ 環境マネジメント交流会議
- ・ グローバル経営管理研究・実践フォーラム
- ・ グローバルHRリーダーズフォーラム
- ・ 企業税務研究部会
- ・ オープン・イノベーション推進者交流会議
- ・ ITを活用したモノづくり革新研究フォーラム

III. ビジネススクール事業(研究調査事業を含む)：BRIビジネススクール(人材養成)研修プログラムの開催

- (1) 実施回数/261回(179) 参加人数/1,192名(679名) 開催時間/1,146時間(1,099時間)
- (2) 1教科当り開催最長時間/68時間(98時間) 最短時間/10時間(10時間)
- (3) ビジネススクール事業収益 116,226千円 (前年度対比 109.0% 前年度:106,664千円)

IV. 公開セミナー事業(研究調査事業を含む)：実務講座、事例研究会を中心に公開セミナーを開催

- (1) 実施回数/868回(693回) 参加人数/8,565名(6,652名) 開催時間/3,952時間(3,170時間)
- (2) 公開セミナー事業収益 290,278千円 (前年度対比 126.3% 前年度:229,874千円)

V. BR誌収益

- (1) BR誌収益 2,840千円 (前年度対比 89.6% 前年度:3,171千円)
- (2) 機関誌「Business Research」の刊行・頒布

正会員、研究部会メンバー、購読会員他に頒布

① 会員、研究部会メンバー 412名 (432名)

② BR誌年間購読会員の数 195名 (208名)

計 607名 (640名)

VI. 研究調査事業

① 「BRIなでしこサミット2017 なでしこ×上司で考える働き方改革」

当会の主として異業種交流会へ参加の企業の女性社員の皆様にヨコのつながりを作っていただく場として開催している本セミナーは、3年目の今回は平成29年6月5日に開催し、社内イクボスアワードの取り組みでマネジメント層の意識改革を進める企業の基調講演、アンケート報告に続き、全員参加型の「働き方改革」をテーマにしたパネルディスカッション及びグループディスカッション、懇親会を実施し、114名の参加を得た。

② 「第3回なでしこプロジェクト研修会 ダイバーシティをジブンゴト化する」

「BRIなでしこサミット」のスピノフ企画である、男女を問わずダイバーシティに問題意識を持つ方を対象とする研修会で、今年度は平成29年9月22日に開催し、「経営戦略から考えるダイバーシティとは何か？」という講演では、ダイバーシティを成長戦略としてとらえ、上司も部下も「自分事」として取り組んでいくためのヒントを提示し、相互啓発による勉強会として58名の参加を得た。

③ 「第9回海外(アメリカ/ニューヨーク RPA)視察研修会」

平成29年10月18日より同22日まで5日間に亘り、「米国企業におけるRPA(及びAI)の活用状況の視察(調査・研究)」をテーマに米国企業を視察し、自社のシェアードサービスとの比較により、今後の推進材料とすると共に、管理・間接部門の将来の方向性を見出していただくことを目的に実施し、8社12名の参加を得た。

④ 「BRIスペシャルイベントHRシンポジウム2018」

平成30年2月1日に、「HRテクノロジーと人事が高めるべきデータリテラシー」をテーマの基調講演に引き続き、「AI時代の採用・働き方・マネジメント」をテーマにパネルディスカッションを実施し、169名の参加を得た。

⑤ 「第4回BRIなでしこプロジェクト研修会 自信を高めるコミュニケーションスキル」

平成30年2月23日には、マネジメントやその他経験不足などを理由に最初の一步が踏み出せない、第一線で働く女性社員向けに、自信とは何か？いかにして行動を後押しするのか？どんなコミュニケーションスキルがマネジメント上有効なのか？ などについて学び、「明日から職場で使える」コミュニケーションスキルをお持ち帰りいただくことを目的に開催し、109名の参加を得た。

⑥ 「第17期シェアードサービス研究交流会議分科会研究成果発表会」

平成30年3月16日に、第17期シェアードサービス研究交流会議の8分科会による研究成果発表会をオープンフォーラム形式で実施し、421名の来場者を得た。

VII. 関係団体・機関との交流・連携

- ・日本サブライマネジメント協会・年次大会後援
- ・華鐘コンサルティンググループ・春季、秋季セミナー(東京、大阪など6都市)後援
- ・一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム後援
- ・日本能率協会、日本経営協会、中部産業連盟、流通問題研究協会、中高年齢者雇用福祉協議会、多摩大学など関係団体・機関との交流